

幹本申5号「2025年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れの交渉を行いました！ その1

第1項 お客さまの手荷物がふえ、且つ大型化していることから収納スペースの確保と今後の対策についての考えを明らかにすること。

《組合》以前、ラゲッジスペースの増設を要求したがそのような計画はないと回答をいただいた。その後もさらに荷物の大型化が進んでおり、今の時期だとスキー・スノーボードケースもある。お客さまの荷物増加、大型化という課題をどう克服していくのか考えを聞かせたい。

《会社》状況は把握しておりこの間も議論させていただいている。2017年以降系E5、E6系、E7系などのラゲッジスペースの拡大などの対策をしているが、今後さらに増設をするとなると座席数を減らすことに繋がるため慎重な判断が必要になる。引き続き状況を見ながら必要な対策は検討をしていく。

《組合》ラゲッジスペース増設の計画はないということだが、やはり荷物に対する対策は急務と考える。どのように対応していくのか？

《会社》計画としては現時点ではないが、どのように対応していくのかについては継続して議論する。現在も車掌が可能な限り巡回をして荷物を整理する、車内放送を強化してお客さまにご協力をいただくなど様々な視点から対策を実施しているし、対策の検討は今後も続けていく。

《組合》現在のラゲッジスペースの規模については何か根拠があるのか？

《会社》お客さまの声や関係する社員の意見、座席数のことなど、総合的な判断で決められている。

《組合》荷物が原因で座席のリクライニングが使用できず、お客さま同士のトラブル、車掌に対してのご意見につながるケースが多い。また荷物棚についてもトラブルが多い。車掌のお客さま対応は本当に大変であり、精神的に引きずってしまうこともある。そういった観点からもラゲッジスペースの拡大、強化をお願いしたい。また異常時に荷物があることで避難誘導の妨げになる可能性もある。

《会社》状況は把握している。現時点で回答できる計画はない。

《組合》現場の実態を含めて議論が深まった。お客さま同士のトラブルが発生していることは好ましくないと思ってしまう。荷物の問題は課題があると思うので、お互いに知恵を出し合いながら対策を出していきたい。これからもお客さまが増えることが予想されるが引き続き対策を検討していくということでしょうか。

《会社》新幹線だけの問題ではない。本社のモビサ部門でも検討が行われていると聞いている。引き続き状況を把握しながら、統括本部としてもより良い姿を目指していく。

引き続き状況を把握しながら、対策を検討していくことを確認！